

事業番号	71
------	----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	子育て支援センター維持管理事業			担当課	子育て支援課	
事業期間	開始年度	平成21年度	～	終了予定年度	担当係	子育て支援センター
総合計画	めざすまちの姿	2 ふれあいあふれる、はつらつとしたまち				
	目標	⑤ 母と子を大切にする（児童福祉）				
	成果指標	子育て支援センター利用者数		中間目標 (H27)	27,000	最終目標 (H32)
予算区分	一般会計	3 款 民生費		2 項 児童福祉費		1 目 児童福祉総務費
	細事業	106 子育て支援センター維持管理事業費				
位置づけ	関連計画					
	根拠法令	湖西市子育て支援条例・湖西市子育て支援センター条例施行規則				
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（					
対象（誰のため）	<input type="checkbox"/> 全市民 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他					
事業の目的（何のため）	子育て支援センターの維持管理を適正に行い、利用者の安全でより利用しやすい環境づくりを目指す。					
内容（概要）	<ul style="list-style-type: none"> ・1986年(昭和61年)3月、新居町保健相談センターとして竣工。合併に伴い、2010年(平成22年)3月23日から湖西市子育て支援センターとなる。 ・維持管理業務を適正に行う。 <ul style="list-style-type: none"> 空調設備保守点検 年2回 消防設備保守点検 年2回 消化器具保守点検 年2回 自動ドア保守点検 年2回 地下タンク保守点検 年1回 害虫駆除 年2回(4月・10月) 電気設備保守点検 年6回(年次点検年1回) 一般廃棄物収集運搬 週1回 日常清掃業務 週3回 年151回 雑廃槽清掃 年3回 貯水槽清掃 年1回 床ガラス清掃 年1回 12月 警備保障 夜間、休日 ・施設修繕箇所把握、対応により、入館者の安全を図る。 					
これまでの改善・見直しの状況						

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	8,055	37,443	9,451	(内訳)
	決算	7,738	37,139		物件費(需用費・役務費・借上料) 6,091 物件費(委託料) 2,694 普通建設事業費(工事請負費) 28,350 補助費等(負担金) 4
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金		6,000		
	地方債				
	その他				
	一般財源	7,738	31,139	9,451	37,139
職員人件費		7,544	7,093	6,194	人工 0.9 人

3. 事業の評価

事業の実施状況

活動指標	内容	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率	
	子育て支援センター利用者数		人	目標	16,000	20,760	22,320
実績			16,358	26,146			
点検の実施		%	目標	100	100	100	100%
		実績	100	100			
			目標				#DIV/0!
			実績				

平成23年度 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理業務 <ul style="list-style-type: none"> 空調設備保守点検 年2回 消防設備保守点検 年2回 消化器具保守点検 年2回 自動ドア保守点検 年2回 地下タンク保守点検 年1回 害虫駆除 年2回 (4月・10月) 電気設備保守点検 年6回 (年次点検年1回) 一般廃棄物収集運搬 週1回 日常清掃業務 週3回 年151回 雑廃槽清掃 年3回 貯水槽清掃 年1回 床ガラス清掃 年1回 12月 警備保障 夜間、休日 雨漏りへの対応のため、外壁張替及び塗装工事等を行う。 					
課題・問題点 となった事項						
どう対処したか						
改善点						効果額 H24-H23 (千円)

事業目的の 達成状況	・利用者が施設の不備によるケガもなく、利用にあたり快適な環境づくりができた。					
※必要性 事業を廃止・休 止したときの影響	・施設が老朽化しているため、随時修繕や点検が必要である。					
判定	A継続	適正な維持管理を実施	事業主体	市		
判定理由	施設の老朽化が進んでいるため、早期の対策により維持管理を継続する。					
今後の方向性	・1階、2階の集中冷暖房の空調機器（灯油）の改修を行い、各部屋個別の冷暖房とする。					